



今回の事務所訪問は、広島支部の中川玲子先生の事務所を訪問させていただきました。

会報編集委員の山東と福田がお話を伺いました。

早速ですが、中川先生が社労士になられたきっかけを教えてくださいませんか？

35歳の時に夫と電子制御装置の開発製造の会社を設立し、会社経営に携わっています。社会保険の手続きや給与計算の実務はもちろんですが、会社経営の経験と実績を積んでいたことが、お客様の労務相談に対応する上で大変役に立っていて、自分の強みとなっています。

通常新人社労士は、手続き業務から入ることが多いですが、経営者の視点があったことで労務相談から無理なくサポートすることができました。

社労士になる前はCFP(r)・FP1級の資格を活かし、FP養成校のFPK研修センター広島の代表として講師もしていました。社労士の資格取得のきっかけはFP科目の中でどれか強い専門科目を持ちたいということでした。社労士合格の初期はそのFP養成校でライフプランと社会保険を担当し、

FP資格者に向けて年金講座も行っていました。

そして、社労士開業2年目に特定社会保険労務士付与制度が始まり、その面白さと経営者経験が活かせることに気づき、本格的な現在の業務形態となって行きました。

開業後について教えてくださいませんか？

まず開業後2年間くらいは営業活動よりも人脈づくりを優先していました。

社労士会の事業、研修会・懇親会にも積極的に参加し、先生方と親交を深め、自分自身の社労士像を求めて色々なことを学びました。また、異業種交流会にも参加することで人脈づくりを行っていました。

その結果が実を結んだのか、その後少しずつ顧問先が増えてきました。2010年に事務所を府中町から中区八丁堀に移転してからは認知度が上がったのか、さらに増えました。開業当初からのスタッフ1名でずっと頑張ってきましたが、手続き業務、給与計算が増えたこともあり、スタッフ1名では対応ができなくなってしまったため、2名増員しました。その後事務所が手狭になってきたので道路を挟んだ向かいのビルに移転して現在に至っています。移転してからはもう2名増員しました。今では手続き業務、給与計算、労務コンサルなんでもこなせる事務所に成長しています。

法人化しようと思われたきっかけを教えてくださいませんか？

2018年5月に法人化し、中川玲子社会保険労務士事務所から社会保険労務士法人SaLac(サラック)に変更しました。

法人化のきっかけは、自分のキャリアの最後の仕事として、法人組織を作ってみようと思ったところからです。自分が忙しいこともあり、自分がいなくても信頼して任せられる体制を整えたかったこともあります。

通常の顧問先対応については、スタッフにお願い

しています。スタッフからの相談にはしっかりと対応しますが、できるだけ自分からは直接対応しないようにしています。最初は任せることに心配で勇気が必要でしたが、今は安心して任せています。

皆、かなり成長してくれていて感謝しています。

法人名 S a L a c (サラック) の由来について教えてください。

S a L a c (サラック) とは  
S ocial insurance (社会保険) a L abor management (労務管理) a c ompany (組織) から成り立っています。

事務所の様子はいかがですか？

現在、中川を含めて特定社労士が2名、特定合格社労士1名、特定勉強中社労士1名、社労士合格1名、事務員1名で、男性1名女性5名の6名体制です。

開業当初から今までずっと頑張ってくれているスタッフもいます。先輩スタッフが後輩スタッフを指導したり、定例ミーティングや必要な時には随時ミーティングを行い、情報や意見の交換をして業務を前向きに進めてくれています。

コミュニケーションツールも活用し、事務所の雰囲気はとても明るく、少人数なので皆とても仲が良かったです。

皆で協力し、助け合いながらチームワークで仕事をこなしている感じがします。

スタッフの人数が増えたお陰で、スタッフの年齢層が幅広くなり、お客様の世代によって考え方に違いがあっても対応がしやすくなりました。

事務所の働き方に特徴があると聞いておりますが、勤務形態等を教えていただけませんか？

ほぼ女性ですので子育て、家事等の家庭と仕事の両立をしながら働いています。女性も男性も個性がある人も、皆が働きやすいように職場をつくりたいと思っていました。

子育て中のスタッフについては、子供の成長に合わせて勤務時間、勤務日数を選択できるようにしています。

重要なのはプロとしての業務に支障をきたさないようにすること。

そのためには9時～18時は最低一人は事務所に居て欲しいこと、何時に来て、何時に帰ってもいいので個別に契約した1日の所定労働時間は守って欲しいこと、コミュニケーションツールを活用し、潤滑に業務を進めること。業務に支障をきたさないようにしてくれたらどんな働き方でも良いと言っています。

自法人の働き方改革について、スタッフ全員で働きやすい職場について話し合ってもらったり、働き方改革で取り上げられる前にテレワークを導入していたりと皆が無理なく働くことが出来て、皆が楽しみながら、力が発揮できる働きがいのある職場になって欲しいと思い色々を行っているところです。

事務所での中川先生の様子、印象はいかがでしょう？

青木先生…腹が座っている。自分にはないので尊敬

しています。

新しいことをどんどんされる対応能力がすごいと思います。

先生が業務されるにあたって心がけていらっしゃる、大切にされていらっしゃることはありますか？

スタッフ、家族、顧問先を含めて自分に関わる周りの全ての人が幸せであって欲しい。

スタッフ一人一人が幸せになれる仕事をして欲しいと思っています。

休日の過ごし方、趣味についてお聞かせいただけませんか？

旅行が趣味なので、コロナ禍になる前は夫とよく旅行に行っていました。国内、海外問わず色々なところを訪れています。海外旅行は十数回以上行っており、欧州が好きでフランス・イタリア・スペインには2回、北米・南米、マチュピチュにも行ったことがあります。2週間休みを取って行った時は、その前後は仕事の山で大変な思いをしたこともありました。コロナ禍が落ち着いた頃にまたどこかに行きたいと思っています。

また美味しいものを食べるのも好きですが、コロナ禍でなかなか行かれないので、最近はインターネットで美味しそうな物を探しては、購入して自宅

で調理して食べています。先日は黒毛和牛のヒレの塊り5キロを購入し、筋膜・筋・脂を処理して整え冷凍、ステーキで美味しくいただいています。

これからの目標を教えてくださいませんか？

まだまだスタッフを育てることに力を入れていきたいです。というか、スタッフが育つ環境を作って行きたいです。スタッフのキャリアコンサルティングを行い、一人一人の個性、特性、強みを引き出し、能力開発の支援を行い、組織全体の成長に繋がってきたいと思っています。

私生活では夫婦仲良く、いいおばあさん、かわいいおばあちゃんになりたいです。

今日は、お忙しい中スタッフの皆さんでご対応いただき有難うございました。社労士なられたきっかけ、仕事に対する姿勢、スタッフの皆さんに対する思い、趣味についてなど、普段あまり聞けない興味深いお話をたくさん聞かせていただき有難うございました。

次回の事務所訪問もどうぞお楽しみに…。

